

混 凝 土 運 搬 法

最近米國ヨリ歸朝者ノ談ニ依レハ同國ニテハ鐵筋混擬土無荷すらぶ(steel slab)式建築盛ニ行ハレツ、アルカク一な一會社等ニアリテハ之レカ建築ニ當リ運搬ハ從來ノ輕便軌道及鍋とろ若シクハしゆーと式(混擬土ヲ高塔ニ引揚ケ傾斜セル桶ヲ流下セシムルモノ)ニ依ラスシテすらぶノ型枠上ニ幅二、三尺ノ足場板ヲ敷キ延ヘ其上ヲ一輪車(ばーろーかー)ヲ以テス而シテ一輪車ニハ木造ノ輕便ナルたわニヨリ混擬土ヲ移載スト云フ蓋シ本法ノ長所トスル處ハしゆーとノ如ク無益ニ混擬土ヲ高所ニ引キ揚タルノ要ナク又輕便軌條ノ如ク敷設ニ手數ナク自由ニ工事ノ進捗ト共ニ敷板ヲ移動シ何處ニモ容易ニ達シ得ル點ニアリト云フ(完)

混 凝 土 注 入 器 あ と ま い ざ ー ノ 應 用

米國ふいらてるふあノ郊外ニ於テ某鐵道トPennsylvania鐵道ト相接シテ平行ニ走ル所アリ而シテ兩者ノ高低ノ差約五十呎ナルヲ以テ粗石空積ノ擁壁ヲ築造シ兩線ヲ通セシニ該擁壁ハ其後孕出テ危險ヲ感スルニ至リシカ土地狹隘ニシテ改築頗ル困難ナル爲メ擁壁ノ空間ニあとまいざーヲ用ヒ混擬土ヲ注入シ練積ノ擁壁ニ變更シ其儘修理セントスル計畫ニテ目下施工中ナルカ工事ハ遲緩ニシテ工費ハ高價ナルモ豫期ノ結果ヲ收メツ、アリト云フ

あとまいかーハ米國 Hold P. Brown 氏ノ特許品ニシテ本法ノ特色トスル所ハ壓搾空氣ノ代リニ
蒸氣ノ壓力ニヨリテ混擬土ヲ噴出セシムルモノニシテ蒸氣ハ膠灰ニ作用シテ強度ヲ増進スルノ
效アルコトヲ主張セリ混擬土ノ割合ハ大略膠灰 1 砂 4 徑四分一時以下ノ砂利 2 ナリト云フ (完)

東京市街線錢瓶町萬世橋間工事ノ現況

本工事ハ東京萬世橋及東京上野ヲ連結セントスル鐵道院市街線工事ノ一部ニシテ東京萬世橋間ヲ連結シ電車二線ヲ通シ以テ現在ニ於ケル中央線ノ終端ト東海道線ノ終端トヲ連結セントスルモノナリ本工事ハ大正四年十二月起工シ本年十一月竣工ノ豫定ニシテ目下其工ヲ急キツ、アリ其現況ノ概略次ノ如シ

工事ノ區間ハ常盤橋ヨリ萬世橋ニ至ル約四千百呎ニシテ全長ヲ高架橋トシ市街道路トノ交叉ニハ鋼鉄桁ヲ架設シ其他ハ悉ク鐵筋混擬土構造トス特ニ外濠ニ架セル拱橋ハ徑間百二十五呎ニ達シ唯ニ東洋一ノ大混擬土拱タルノミナラス幹線鐵道ニ架設セラレタル鐵筋混擬土橋ノ一例トンテ囁目スル價值アルモノナリ

現在ニ於ケル中央線終端驛萬世橋驛構内ヨリ市街電車通ヲ横切リテ架設セラレタル鉄桁ヲ萬世橋トス本橋ハ全徑間百五十六呎ノ控架橋ニシテ街路上ニ二列ノ支柱ヲ建テ其ノ中間ニ吊徑ヲ架ス主桁ハ全長同高ヲ有シ床ハばっくるぶれーとヲ張リ道床ヲ敷ク計畫ナリ目下第一線(第一線ハ上線ニシテ第二線ヲ同上)ノ架設ヲ了シ床張リノ鉄鉢中ナリ鉢ノ現場鉢メハ凡テ壓搾空氣鉢鉢機ヲ使用スル計畫ニテ之カ爲メ桁下支柱ノ傍及ヒ本橋ニ隣接セル拱ノ床下ニ各一臺ノ五馬力石油發動機空氣壓搾機ヲ備フ加之尙一臺ノ壓搾機モ遠カラス使用セラルヘシト云ヘハ現場鉢メノ工程